

春季

県高校野球

第1日

春季県高校野球選手権は21日、八戸市長根公園野球場と六戸町メイプルスタジアムで開催し、1回戦4試合5回戦2試合を行った。1回戦では弘前実が4点差をひっくり返し、八戸北に逆転勝ち。昨年の甲子園大会出場校対決となった弘前学院聖愛・八戸西は、弘前学院聖愛が三回、4連続安打などで一挙4点を挙げ、丸岡、工藤達の本塁打で突き放した。このほか三本

木、八工大二が2回戦へ、木造、八学光星が3回戦へそれぞれ進んだ。2日目の2日は2回戦5試合を実施。昨秋の東北大会4連覇の八工大一と青森山田が対戦し、八工大一は三本本塁打で青森山田を破る。同日予定されていた回戦の三沢商・八工大二は、三沢商が学校事情で辞退したため八工大二の不戦勝となった。（本紙取材班）

光星 打線に勢い 大湊 意地の3得点



【八学光星＝大湊】5回表、八学光星2死二塁、越田が右中間越えの適時三塁打を放ち8-3リード。捕手・木村、一六メインフル

【評】八学光星は五回、2長短打で1死一、三塁と好機をひける。井坂も光った。大湊は三回まで3得点と食い下がったが、先発の3連続適時打で二挙5得点。六回も敵失や四津島がつかまり相手打

球につけ込み4点を奪い試合を決めた。不調の洗平歩を救った越田、宇田が力投。無失策の堅守も光った。大湊は三回まで3得点と食い下がったが、先発の3連続適時打で二挙5得点。六回も敵失や四津島がつかまり相手打を受け四回から登板。3

球につけ込み4点を奪い試合を決めた。不調の洗平歩を救った越田、宇田が力投。無失策の堅守も光った。大湊は三回まで3得点と食い下がったが、先発の3連続適時打で二挙5得点。六回も敵失や四津島がつかまり相手打を受け四回から登板。3

球につけ込み4点を奪い試合を決めた。不調の洗平歩を救った越田、宇田が力投。無失策の堅守も光った。大湊は三回まで3得点と食い下がったが、先発の3連続適時打で二挙5得点。六回も敵失や四津島がつかまり相手打を受け四回から登板。3

人おひやりと抑えて早い空気を交え、五回には自ら僅十金の適時三塁打を放った。「投打とも調子が良かったので、力を出せて良かった」。蓮田中時代に好投手として知られた番野は満足そうに話した。仲井監督は越田を評価する一方で洗平歩がなめと3四死球、3失点と本意な出来だったエースに不満げ。もっと頑張ってもらわないとと奮起を促した。